

# 平成28年度 港北区 区民意識調査

<速報版 / 全体の結果 要約レポート>

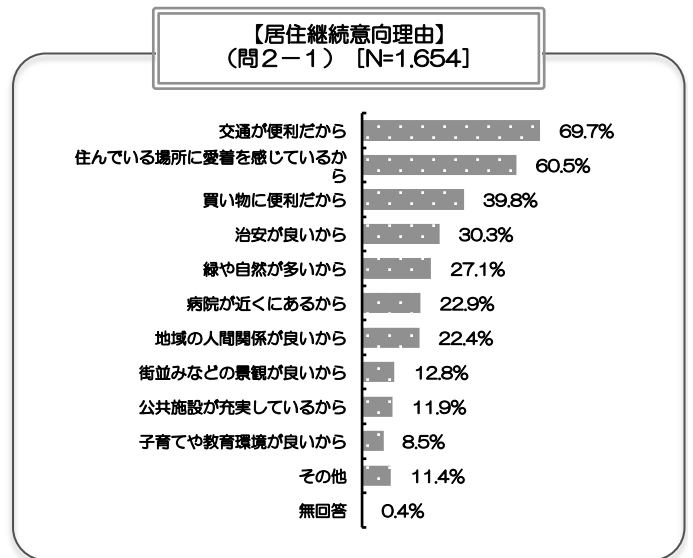
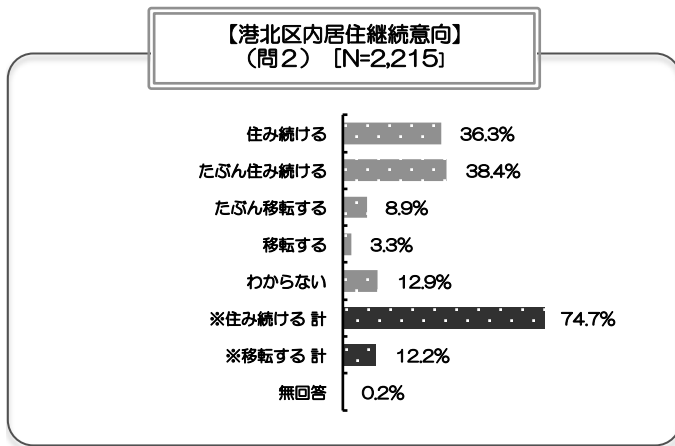


## <平成28年度調査の実施概要>

【調査方法】	「①. 郵送調査（郵送回収とネット回答併用）」と「②. 登録モニターWEB調査」の2種の調査方法の併用
【調査対象】	港北区内在住の18歳以上の男女（郵送調査は、5,000人を無作為抽出して発送）
【調査期間】	平成28年12月1日～平成29年1月10日（WEB調査は～12/15で完了）
【有効回収数】	合計 2,215サンプル（郵送調査 1,715ss / WEB調査 500ss）

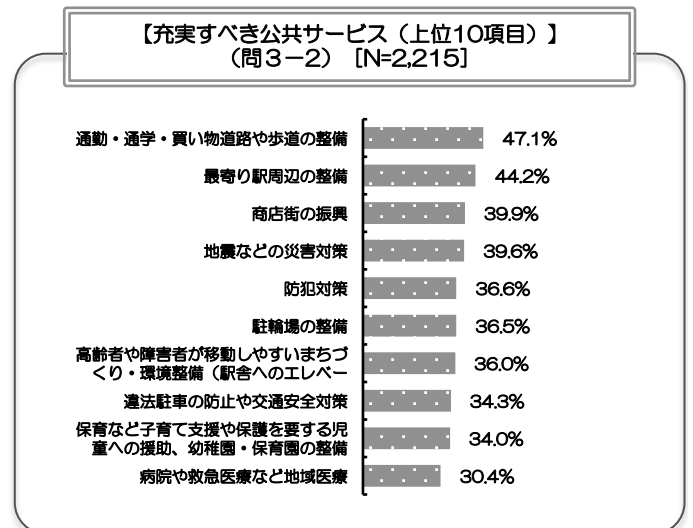
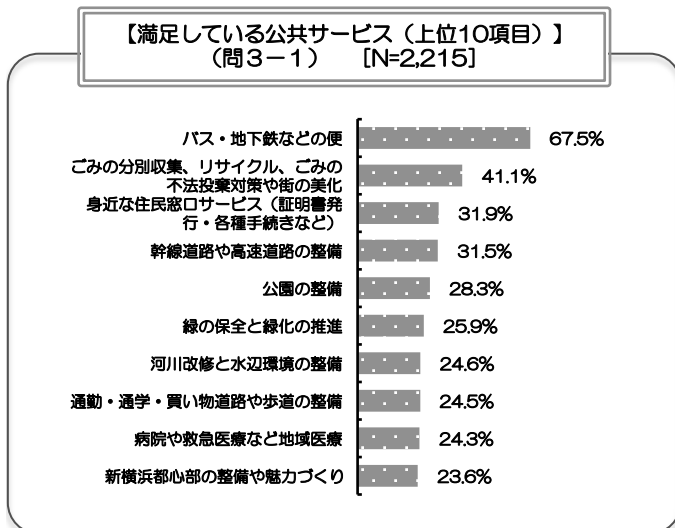
## <港北区での継続居住意向と継続居住意向理由>

- 4人に3人が『港北区内に住み続ける』と回答。  
一方、『港北区内から移転する』と「わからない」という人は、それぞれおよそ9人に1人の割合。
- 区内に住み続けたい人のその理由では、約7割の「交通が便利」と約6割の「居住場所に愛着」が2トップ。これに「買い物に便利」が4割で続いて中核理由となっている。



## <市の行政などについて>

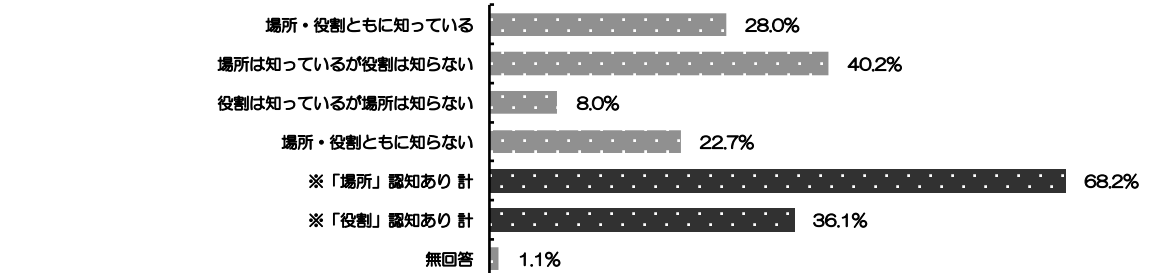
- 7割弱の「バス・地下鉄などの便」を筆頭に「ごみの収集等や街の美化」「身近な住民窓口サービス」が満足している公共サービスのBEST3。
- 一方、充実すべき公共サービスでは、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」「最寄り駅周辺の整備」「商店街の振興」「地震など災害対策」の4項目が、4割以上の比率で上位。



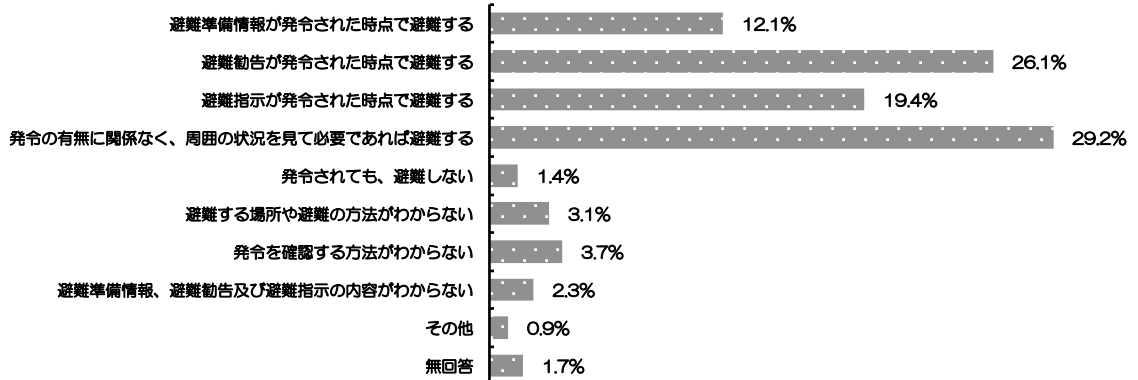
## <防災について>

- 地域防災拠点の認知状況は、『場所認知』が7割弱、『役割認知』が3割台半ばで、『場所と役割共に認知あり』は3割弱。一方、『場所と役割共に知らない』は2割強。
- 発令時の避難の仕方については、『避難は、発令に関係なく自分の判断で』という人がほぼ3割で最も多いが、発令のタイプ別に『非難するという人』の積算割合をみると「避難準備情報発令」で1割強、「準備+勧告発令」で計4割弱、「準備+勧告+指示発令」で計6割弱が、避難すると回答。一方、「避難しない」や「避難の方法等がわからない」などのその他の回答も合わせるとほぼ1割。

【地域防災拠点の場所・役割の認知状況】（問24） [N=2,215]



【情報発令時の避難の仕方】（問26） [N=2,215]



## <健康について>

- 自身の健康のために日頃から気をつけていることでは、『食事』と『定期的な健康診断の受診』がそれぞれほぼ5割で多く、僅差で『なるべく運動する』と『十分な睡眠と休養』が続き上位。一方、「特に何も気をつけていない」という人は7%と少数派。

【自身の健康のために日頃気をつけていること】（問28） [N=2,215]

